

要 約

試験委託者

環境省

表題

C. I. ピグメントブルー 29 のオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する
急性遊泳阻害試験

試験番号

A060063

試験方法

本試験は、「新規化学物質等に係る試験の方法について<藻類生長阻害試験，ミジンコ急性遊泳阻害試験及び魚類急性毒性試験>」（平成 15 年 11 月 21 日 薬食発第 1121002 号，平成 15・11・13 製局第 2 号，環保企発第 031121002 号，最終改正：平成 17 年 4 月 1 日）に準拠して実施した。

1) 暴露方式： 半止水式（24 時間後に試験液の全量を交換）

2) 暴露期間： 48 時間

3) 試験濃度（設定値）： 対照区，100 mg/L（試験上限濃度での限度試験）

被験物質は難水溶性の無機化合物であるため，分散状態の試験液を用いて実施した。

4) 試験液量： 100 mL／容器

5) 連数： 4 容器／試験区

6) 供試生物数： 20 頭／試験区（5 頭／容器）

7) 試験温度： 20±1 °C

8) 照明： 室内光，16 時間明（800 lux 以下）／8 時間暗

9) 分析方法： 誘導結合プラズマ質量分析（ICP-MS）

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

分析の結果、測定値の設定値に対する割合は、試験液調製時において93%、その24時間後において1%であった。試験液中で被験物質が徐々に沈殿したことにより、24時間後の中層の濃度が減少したものと考えられる。

参考として、試験液をフィルター*でろ過したろ液を同様に分析し、試験液中に溶解している被験物質の濃度を確認した。分析の結果、ろ液中の被験物質濃度の平均値は 0.146 mg/L であった。

*：ミリポア製 マイレクス HA 0.45 μ m

2) 24 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EC50) : >20.8 mg/L (95%信頼区間：算出不可)

0%阻害最高濃度 : >20.8 mg/L

100%阻害最低濃度 : >20.8 mg/L

3) 48 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EC50) : >20.8 mg/L (95%信頼区間：算出不可)

0%阻害最高濃度 : >20.8 mg/L

100%阻害最低濃度 : >20.8 mg/L